

げんきかい健康麻雀ルール（条文解釈例解）

平成27年4月29日改訂版基準

2019.12.22

「ルール」として条文に盛り切れない細かい部分の解釈の要点を、以下に「例解」としてまとめました。

初心者にも分かりやすいように書いてありますので、ご理解とご協力をお願いします。

“げんきかい”マージャンは楽しむことを第一義とする健康麻雀です
 東南戦、持ち点30,000点、箱点（マイナス）になってもゲーム続行（借棒する）
 点棒のやり取りはしますが、点数を記録するかどうかは自由です

基本事項

- 1 オール1 翻縛り（5本場からの2 翻縛りなし）
- 2 役の付け方は、「先付け」が基本ですが、例外あり 下記取扱い細目参照）
- 3 フリテンは ツモればOK フリテンリーチ あり オープンリーチ なし
- 4 喰いタン、喰いピン なし
- 5 形式テンパイ あり（ただし、メンゼンの場合のみ）
- 6 親がノーテンなら 親流れ
- 7 多牌、少牌は罰則なし、そのままゲーム続行
- 8 途中流局あり（九種倒牌・四風連打・四人リーチ・2人以上での四槓子・3人上がり）
- 9 流し満貫あり（チー、ポン、カンのないとき）
 ※最初から最後まで1・9、字牌だけで振り切ること、1つでも喰われたらダメ
- 10 上がり者は一人（二人上がりは頭ハネ、三人上がりは流局）
 ※例えば、西家、北家の2人が同時に上ったときは、上家の西家の上がりとする
- 11 王牌は14枚残し
- 12 役満のパオ則は、大三元、大四喜、四槓子に適用。ツモは全額、ロンは折半
 ※パオとは例えば、大三元を確定づける3種類目の三元牌をポンさせること